

EA840DK-32 [DC12V] 電動ウインチ 取扱説明書

Ver.1.0

このたびは当商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用に際しましては取扱説明書をよくお読みいただきますようお願いいたします。

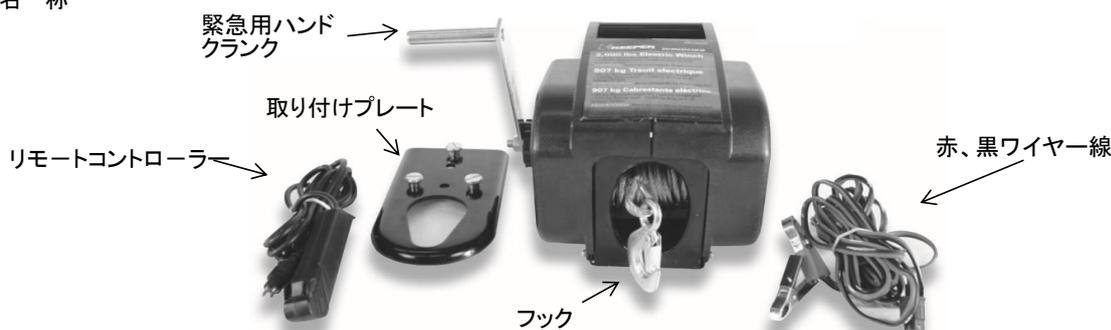
◆ 安全にご使用いただくために

- 取扱説明書をお読みいただき、内容を理解した上で取付けおよび操作を行なって下さい。
基本的な安全上の注意事項には特に注意して下さい。
- お買い上げのウインチは強力な装置です。危険な使い方・誤った使い方をすると、物的損害および身体傷害を引き起こす可能性があります。
お客様の安全は、最終的にはご使用になる際にお客様がいかに注意を払われるかにかかっています。

◆ 概要

- このウインチには直巻線、12ボルトDCモーターが装備されており、連続使用しない設計されています。
この電動ウインチは、ほとんどの電気モーター駆動式工具に似ていて、過度に熱くならないようにして下さい。
モーターが動かなくなったり、モーターの端が手で触れると熱くなったら、ウインチを止めモーターを冷やして下さい。
- 工業用途または吊り上げ作業での使用を意図したものではありません。
そのような用途での使用には適していません。

◆ 名称



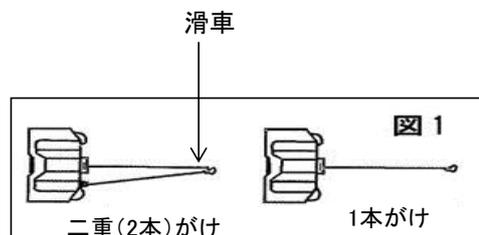
◆ 仕様

- 水平牽引能力…907kg
- モーター…永久磁石 12DC
- 巻取り速度…1.8m/分(負荷)
- 電源…DC12V/バッテリー専用
- 使用ワイヤー…φ 3.9mm × 9.1m (使用可能長: 8m)
- コード…出力側: 6m、コントローラー側: 3m
- リモートコントローラー、フック、取り付けプレート、緊急用ハンドクランク付
- サイズ…241X190X254 (H)mm
- 重量…10.8kg

使用上の注意

1. ご使用前に説明書をお読みいただき、内容を理解して下さい。
使い慣れない人には絶対に操作させないで下さい。
使用中は必ず保護めがね、革手袋を着用して下さい。

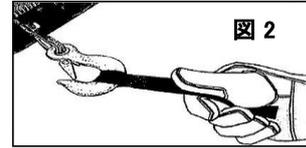
2. ウインチの能力を超えないようにして下さい。
荷重をかけ過ぎたり、重量物を長時間牽引しないで下さい。
荷重がかかりすぎるとウインチおよびワイヤーロープが損傷し、危険な状態を招く可能性があります。
ウインチの定格能力の75%を超える荷重については、滑車(別売)を使用し、ワイヤーロープを二重にして牽引することをおすすめします。(図1)



2. 二重にすることで、ウインチにかかる荷重、ワイヤーロープおよび車両の電気系統への負担が軽減されます。
3. ワイヤーロープは全て引き出さず、ドラムに5巻以上残して下さい。
4. ウインチが作動している間は、車両のエンジンをかけておいて下さい。
エンジンを切った状態で行なうと、バッテリーが消耗しエンジンを再起動できなくなる可能性があります。
5. ウインチが対象物を牽引しているときは、車両を運転しないで下さい。
ウインチの巻き取る力だけで作業してください。ウインチと車両の両方を同時に動かすと牽引するワイヤーロープおよびウインチに負担がかかり過ぎる可能性があります。
6. ウインチを使用中は、ワイヤーロープやフック、ウインチのそばに近寄らないで下さい。
7. ウインチおよびワイヤーロープはこまめに点検して下さい。
ワイヤーロープがねじれたり、平たく押しつぶされている場合はすぐに交換して下さい。ウインチの取付状態(ボルトのゆるみがなく、しっかり締まっているか)を定期的に確認して下さい。

8. **ワイヤーロープを扱う時は、厚手の革手袋を着用して下さい。**

手袋を着用していても、ワイヤーロープを直接持って引出作業を行わないで下さい。
(図2)のようにハンドセーバーストラップをフックにかけ、作業を行なって下さい。



9. **ワイヤーロープは全て引出さず、ドラムに5巻以上残して下さい。**

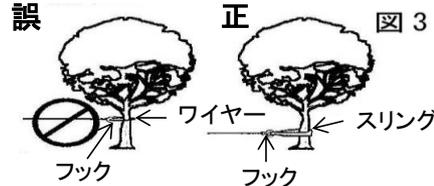
全て引出して使用した場合、最大荷重に耐えられない可能性があります。

10. **ピンと張ったワイヤーロープに近づかないで下さい。**

ピンと張ったワイヤーロープは絶対に跨がないで下さい。

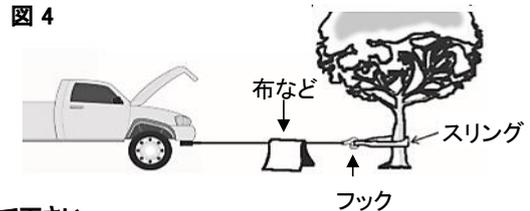
11. **ワイヤーロープのフックをワイヤーロープ自身に引っ掛けて使用しないで下さい。**

ワイヤーロープが損傷する可能性があります。
このような場合は、ナイロン製のスリングなどを使って接続して下さい。(図3)



12. **重量物を牽引する場合、ワイヤーロープのフックに近い位置に毛布やシートなど厚手の布を**

かけておくと、万が一ワイヤーロープが切れたとき、布が緩衝物となり、ワイヤーロープがはねるのを防ぐことができます。(図4)



13. **このウインチは荷物を牽引するためのものです。**

人を持ち上げたり、移動させるためには、絶対に使用しないで下さい。

14. **このウインチは吊り上げ作業用のものではありません。**

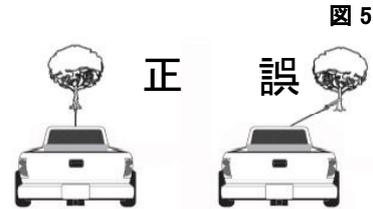
吊り上げ作業には使用しないでください。天井に取りつけないで下さい。

15. **正面以外から牽引し続けしないで下さい。(図5)**

ワイヤーロープがドラムの片側に偏って巻き取られることとなります。
そのまま使用するとウインチにワイヤーロープがからみ、ウインチやワイヤーロープが損傷する可能性があります。

16. **決してウインチの警告ラベルを剥がさないで下さい。**

17. **ウインチは必ず巻取り動作が良く見える状態で操作して下さい。**



18. **フック、滑車、ストラップなどの器具は、ウインチの能力に適したサイズのものを使用して下さい。**

また、性能を低下させるような損傷がないか定期的に点検して下さい。

19. **ウインチに荷重がかかっているときに、絶対にクラッチダイヤルを解除しないで下さい。**

20. **ウインチに荷重がかけられている時に、ウインチのドラムに接触したり、ドラム付近で作業しないで下さい。**

21. **アルコールを飲んでいるときは、ウインチの操作はしないで下さい。**

22. **ウインチのドラムの近くで他の作業をするときや牽引作業の準備中は、誤ってウインチの電源が入らないよう、電源コードはバッテリーから外しておいて下さい。**

23. **対象物を牽引するときは、ピンと張った状態になるまでワイヤーロープをゆっくり巻き取って下さい。**

ワイヤーロープがピンと張った状態になると、一旦ウインチを止め、ウインチの接続を確認して下さい。

フックは正しく取付けられているか、スリングを使用する場合、スリングはしっかり対象物に

取付けられているかなど確認して下さい。

24. **このウインチを牽引物に使用するときには、**

車両のギアをニュートラルにして、ハンドブレーキを掛け、車輪は全て車輪止めで固定して下さい。

25. **牽引物を固定するためにこのウインチを使用しないで下さい。**

26. **スイッチ、リモコンなどは同梱の部品以外は使用しないで下さい。**

ケガや故障を引き起こす恐れがあります。

27. **ウインチの改造はしないでください。ケガや故障を引き起こす恐れがあります。**

28. **DC12V用のウインチです。12Vバッテリーに接続して下さい。**

故障や感電の恐れがありますので、AC100Vには接続しないで下さい。

29. **ウインチやワイヤーロープには衝撃を与えないで下さい。**

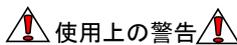
30. **斜面や坂で牽引作業を行なう場合、細心の注意を払って作業して下さい。**

31. **作業中は周囲に人や物を近づけないで下さい。**

32. **ウインチに付属しているハンドクランクは、緊急時にのみ使用できます。(バッテリーが故障した場合など)**

ウインチが作動している時は、ハンドクランクを使用してアシストしないで下さい。ウインチを操作したり、

ハンドクランクを取り付けた状態でウインチをフリーホイールさせたりしないで下さい。



使用上の警告

ウインチの使用中は危険が発生するかもしれません。身を安全に守り、周りの人にも注意して下さい。

<ケーブル>

ケーブルの状態が良好で、正しく接続されていることを確認して下さい。ケーブルが擦れている場合は、ウインチを使用しないで下さい。強度の低いケーブルと交換しないで下さい。

<バッテリー>

バッテリーの状態が良いことを確認して下さい。バッテリーの酸やその他の汚染物質との接触を避けて下さい。バッテリーの周りを作業するときは、常に目の保護具を着用して下さい。ウインチを使用しているときにエンジンを作動させて、バッテリーを使い切らないようにして下さい。

<距離間>

ケーブルが引っ張っている直線から離れて下さい。滑ったり壊れたりすると、この線に沿って「鞭打ち」します。使用中に手、衣服、髪および宝石類をウインチから守って下さい。ウインチの操作が安全であることを確認する監視人を付けて下さい。

ウインチを作動させる前に、監視人が車両とケーブルの途中に入っていないことを確認して下さい。

<力の限界>

このウインチの引っ張り限界を超えないようにして下さい。ウインチを「アシスト」するために緊急ハンドルを使用しないで下さい。これはウインチを傷つけ、怪我をする可能性があります。

ウインチの取り付け方法

ウインチは、取り付けプレートを使用して一時的に取り付けるように設計されています。ただし、ウインチを恒久に取り付けすることもできます。

恒久に取り付ける方法

1. 車のバンパー、トラックベッド、ポートトレーラー、または他の適切な場所に取り付け位置を選択して下さい。

注:このウインチは907kgを引っ張る力があります。

選んだ場所がこのような強い力に耐えられるか確かめて下さい。

2. ウインチを希望の場所に合わせ、ウインチの底面にある3つの穴の位置に合わせ穴の位置に印を付けて下さい。
3. ウインチを車両またはトレーラーの安定した構造物の場所に取り付ける場合は、これらに穴をあけます(図6)。
4. 直径3/8"以上の硬化鋼製ボルトを使用して、ウインチをその場所に取り付けます。

図6



<一時的な取り付け>

1. 付属のナットを使用して、(3)プレートスタッドボルトを図のようにアダプタープレート(図7)に取り付けます。しっかりと締めて下さい。



図7



図8

2. ウインチの裏側の鍵穴にスタッドボルトの頭を挿入します。
3. トレーラーヒッチボールをアダプタープレートの穴に通して、ウインチ、アダプタープレートアセンブリをトレーラーヒッチに取り付けます(図8)。

ウインチの巻取り方法

1. 車両のクラッチレバーをニュートラルに置きます。(ギアの入った状態又は駐車している車にウインチすることは絶対にしないで下さい。車の伝達が損なわれる可能性があります)。サイドブレーキをかけ、適切な車止めを使用して車輪の転がりをとめて下さい。
2. ケーブルを引き出すには、クラッチノブ(図9)を反時計方向に回して緩め、必要なケーブルを引き抜きます。ケーブルがウインチから引き放される事を防ぐために、ケーブルの少なくとも5巻をドラムに必ず残して下さい。
3. 牽引ストラップまたはチェーンを使用して物体に引っ掛けます。絶対にケーブルを物の周りに巻きついたり、ケーブル自体に引っ掛たりしないで下さい。これにより、引っ張られている物体に損傷を与えたり、ケーブルを傷つけることがあります。
4. クラッチノブを時計回りに締め直します。
5. 安全な状態にしておき、リモコンの電源スイッチを使用してケーブルを引っ込め、必要に応じてアイテムを巻き上げます。

図9

クラッチノブ



ウインチの操作

ウインチは一時的な配線または常設配線で使うことができます。

1. 保護カバーを持ち上げ(図10-1)、ケーブルをウインチ本体の右側にあるプラグに差し込みます(図10-2)。ウインチからバッテリーに電気コードを配線し、移動する機器に巻き込まれないように注意して下さい。

図10-1



図10-2



2. ケーブルのブラッククランプハンドルを車のフレームに接続し、アース接続を確立します。赤いクランプハンドルをバッテリーのプラス(+ /赤)端子に接続します。(図11)

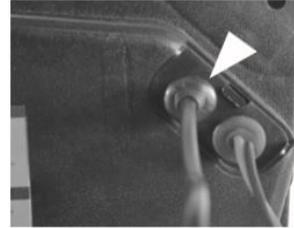
図11



注: 12Vの自動車用バッテリーまたは同等品が良好な状態で使用していることを確認して下さい。

3. リモートコントロールユニットを持って、コードの端にあるソケットを、「リモコン」と表示されたウインチ本体の左側のメスプラグに差し込みます(図12)。
4. 使用の準備が整うまでリモコンを安全な場所に置きます。
5. ユニートをそれぞれのコンセントに確実に差し込んで下さい。

図12



恒久的な配線

1. バッテリーの端子クランプボルトを使用して、回路ブレーカをバッテリーの正(+ /赤)端子に接続します。
2. ウインチを取り付けてある、又は使用されている車両の点からバッテリーへの配線経路を計画します。このルートは、移動部品、道路の破片、または車両の操作または保守による損傷の可能性から安全に保護されていなければなりません。たとえば、車両の下にワイヤーを配線しようとする、適切な留め具を使用して配線をフレームに取り付けることができます。排気システム、ドライブシャフト、非常ブレーキケーブル、燃料ライン、または熱や動作による配線に損傷を引き起こす可能性のある箇所、その他部品にワイヤを接続しないで下さい。火災の危険があります。
- 3.バンパーやボディーの一部をドリルで通して配線する場合は、ゴム製のグロメットを穴に取り付けて、ワイヤーの擦傷を防ぐようにして下さい。
4. 上記の注意事項に従って、ウインチが使用される場所から電源ケーブルを配線します。
5. 赤いクランプハンドルを外し、バッテリーのプラス(+ /赤)端子に取り付けられている回路ブレーカーに赤い線を取り付けます。
6. 黒いクランプハンドルを取り外し、黒いワイヤーを車のフレームに取り付け、確実に電気的接地をします。

⚠️ 注意 ⚠️

1. 車からバッテリー電源を使用するときは、必ずフレームを赤の(+極)に、黒をアース(-極)に接続して下さい。
2. バッテリーが完全になくなるまで、ウインチなどの付属品を使用しないで下さい。
3. このウインチを使用してエンジンを動かしておけば、バッテリーを連続的に充電することができます。ただし、走行中の車両の周りを作業する場合は、細心の注意を払って下さい。
4. 汚れたり、腐食した、又は漏れたバッテリーは使用しないで下さい。酸性火傷によるけがの恐れがあります。
5. 充電電池を使用するときは、常にANSI認可の安全眼鏡を着用して下さい。

⚠️ 注意 ⚠️

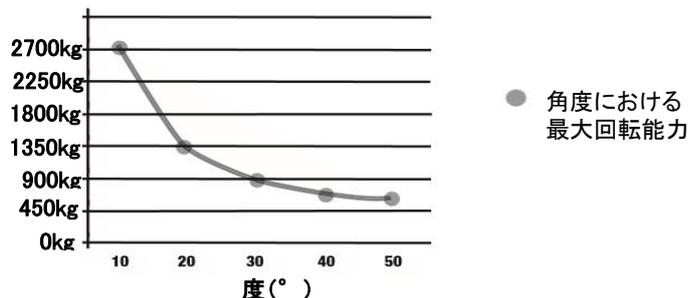
1. ウインチするときは、手、衣服、髪、宝飾品をドラム部分とケーブルから離して下さい。
2. ケーブルがほつれたり、ねじれたり、破損している場合は、絶対にウインチを使用しないで下さい。
3. 電源が供給されている間は、誰もケーブルの近くに、又はウインチの後ろのケーブルに沿って立たないで下さい。ケーブルが滑り落ちたり破損したりすると、突然ウインチに戻って跳ね返り、側にいる人に危険が及ぶ可能性があります。巻き上げ中は常に横に立って下さい。

牽引能力

1. このウインチの能力は907kgです。この測定値を実際の使用に適用すると、ウインチを使用して以下を移動できます。
 - a: 平らな場所で最大907kgの荷重を移動させる事ができます。
 - b: 最大2250kg、548cmの長さの水上ボートを動かすことが出来ます。
 - c: 2721kgまでの空気圧の疲れたローリング荷重の動きを維持する。
2. 傾斜の増加に伴って牽引能力が減少します。
例えば、回転能力は平らな面で2700kgから減少し、45°の傾斜地面で約495kgになります。

様々な傾斜での推力(推力)を推測するには、次の図を参照してください。

傾斜における回転能力



<緊急用ハンドクランクの使い方>

操作用ウインチを補助するために緊急用ハンドクランクを使用しないで下さい。
これはウインチを傷つけ、怪我をする可能性があります。

※ 緊急用ハンドルは、緊急時に使用して下さい。

1. クラッチノブを手で時計方向に回し締めます。強く押したり、締めすぎたりしないで下さい。
2. 緊急用ハンドクランクの端を、ウインチの左側のねじ軸の平らな平らな端に合わせ置きます(右図)。付属のナットで固定します。
3. 緊急ハンドルを時計回りに回してケーブルを締めます。回し続けるとケーブルが完全に引き込まれます。



◆メンテナンス

1. 軽油で時々ケーブルに潤滑剤を塗布します。
2. 6ヶ月ごとに歯車にグリースを塗ります。これを行うには、クラッチつまみを取り外し、左右にハウジングを分離します。良質の防水グリースを使用して下さい。

改造はしないで下さい。



- ・本機の寿命を著しく損ねる場合があります。
- ・ご使用者が怪我をする場合があります。
- ・作業工程に支障を来たす場合があります。

株式会社エスコ
本社/〒550-0012 大阪市西区立売堀3-8-14
TEL(06)6532-6226 FAX(06)6541-0929

19.Jan